

地域が支え
地域を拓く

能登空港！



能登空港は7月に開港2周年を迎え、3年目がスタートしました。

2年目の年間搭乗率は目標を上回り、64.5%でした。1年目に比べると年間の旅客数は増加し、また冬場の落ち込みは解消しましたが、4月の搭乗率が開港以来最低の50.3%を記録するなど、春先にかけて搭乗率が急降下しました。

3年目の目標搭乗率は64%ですが、3年目は厳しいものが予想されています。

能登ー羽田便は4月から、オーディオプログラムが聞けるようになり、座席幅が以前より広くなるなど、より快適な空の旅の時間を楽しめるようになりました。天気の良い日には、空から立山連峰や見附島などが見え、また、日本海も見渡すことができます。馴染みの町も、空から見ると新鮮に見えるかもしれません。

みなさんの更なるご利用で、「能登の翼」を守りましょ。

平成17年7月20日搭乗分から

能登空港利用促進

助成制度が

開始されました！

この制度は、能登空港の利用促進を図るため、能登空港航空便を利用した市民に対して、「地域商品券」または「航空券予約引換券」を交付するものです。また地域商品券に引き換えることで、地域振興を促進し、能登空港利用効果を地域経済に還元することが出来るものです。

